

## 緑のセンター出前授業「マリーゴールドを育てて草木染」実施概要

実施校：呉服小学校 4年生1組、2組、3組の3クラス

授業実施日：2024年8月28日（水曜日）

1時間目、2時間目、3時間目（9時～12時）

講師：池田市緑のセンター

作業補助\*NPO 法人いけだエコスタッフ

単元：小学4年生 総合的な学習の時間 SDGs 学習

授業の概要：「草木染め」は、植物に含まれている自然の色を抽出し、糸や布を染めることです。草木の種類や、同じ植物でも季節や染め方を変えることにより多彩な色に染めることができます。

授業では、種から育てたローズマリーを使い、運動会で使うはちまきと6年生の家庭科で使う巾着の白い布を染めました。

授業のながれ：

工程	作業
前日までに、	布をミョウバン液に浸しておきます
授業開始	あいさつと今日のスケジュール
材料を煮出し染液をつくります	<マリーゴールドの袋詰め> 排水ネットにマリーゴールドを入れて、口を輪ゴムでしばります。
	<煮出し> 鍋に半分の水を入れる。袋につめたマリーゴールドを入れ、火にかけます。煮立ったら弱火で、排水ネットが破れないように、菜箸で鍋の中をかき回します。（15分程度）。
	<煮だしているあいだマリーゴールドのお話> マリーゴールドは、キク科のなかま。 大きく2つに分けると「フレンチマリーゴールド」と「アフリカンマリーゴールド」があります。 マリーゴールドは開花時期が長く、鮮やかな色です。 マリーゴールドの花は舌状花と筒状花に分けられます。 花だけでなく茎でも染めることができます。
	染め液ができたなら（鍋の水の色が濃くなったら）、マリーゴールドの袋を取り出します。
	取り出したマリーゴールドの袋はずん胴にうつして、巾着の布を染める染液をつくります。
草木染開始	<染め材料投入> ハチマキをミョウバン液から取り出して、水洗いをしてから、絞って水を切って、鍋に入れます。 菜箸を使ってハチマキを泳がします（染むらがでないように15分程度）
仕上げ	ハチマキはそのまま放置して冷却します。 最後にハチマキを取り出し水洗いして、乾かします。
	ずん胴にも巾着の布を入れて染めます。
授業終了	ふりかえり、まとめ、

※ずん胴での作業は、講師とスタッフで行いました。

【授業のようす】





以上